

安城学園高等学校 同窓会会則

2017.2.20

■第1章 名称及び事務局

- 第1条 本会の名称を安城学園高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会は、事務局を安城学園高等学校内に置く。

■第2章 目的と事業

- 第3条 本会は、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、安城学園高等学校の発展に寄与することを目的とする。
又、安城学園の他の同窓会との交流を行い、親睦を図る。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
 - 1 会員の互助
 - 2 会員名簿の整理
 - 3 母校が行う事業への協力
 - 4 安城学園の他の同窓会との交流及び親睦
 - 5 その他、本会の目的達成に必要と認められる事業

■第3章 会 員

- 第5条 本会は、次の会員により構成する。
正会員
 - 1 安城学園女子短期大学附属中学校卒業生
 - 2 安城学園女子高等学校卒業生
 - 3 安城学園女子短期大学附属高等学校卒業生
 - 4 安城学園高等学校卒業生特別会員
 - 教職員及び旧教職員

■第4章 役員幹事の選出方法及び任務

- 第6条 本会に次の役員を置く。

1 顧問	若干名
2 会長	1名
3 副会長	若干名
4 事務局長	1名(副会長が兼任)
5 幹事長	1名
6 書記	4名
7 会計	2名
8 監査	2名
- 第7条 本会に学外・学内代表幹事を若干名置く。
- 第8条 本会の役員の選出は、次の方法で選出する。
 - 1 顧問は、安城学園長・同理事長、勿忘草会会長、安城学園高等学校長とする。
 - 2 会長は、役員会の推薦によって選出し、総会の承認を得る。
 - 3 副会長は、2項に同じとする。
 - 4 事務局長は、副会長の中から会長の委嘱によって定める。
 - 5 幹事長は、会長の委嘱によって定める。
 - 6 書記は、5項に同じとする。
 - 7 会計は、5項に同じとする。
 - 8 監査は、5項に同じとする。
 - 9 学外・学内幹事は、5項に同じとする。
 - 10 卒業年次ごとの幹事は、同期会員の互選による。

- 第9条 本会の役員、幹事には次の任務がある。
 - 1 顧問は、本会に助言し諮問に応える。
 - 2 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長不在又は事故ある時はその代理をする。
イ すべての会の議事、資料作成 ロ 会の進行
 - 4 幹事長は、幹事会を掌握し、幹事会を統括し、幹事の意向を役員に計る。
 - 5 事務局長は、各会の事務運営を担当、処理する。
イ 通知文作成等 ロ すべての通信事務の指示
 - 6 書記は、本会の運営上の記録、整理、保管をする。
イ 会員名簿の整理、保管、宛名ラベルの印刷
ロ 各会の議事録作成と保管
ハ 会報の発行等
 - 7 会計は、本会の経理事務を処理する。
 - 8 監査は、会計事務の監査に当たる。
 - 9 幹事は、幹事長の指示により幹事会、総会等の会務を分掌する。
但し、学内の幹事は同窓会行事に積極的に協力する。

- 第10条 役員、学外・学内幹事の任期は、3年とする。但し、再選はさまたげない。
任期中に選ばれた場合は、残任期間とする。

■第5章 会 議

- 第11条 本会の会議は総会、役員会、幹事会とする。
 - 1 総会は、年1回を定例とする。議長は、会長とする。
 - 2 役員会は、年2回を定例とする。但し、会長は、必要に応じて開くことができる。
 - 3 幹事会は、年1回を定例とする。但し、幹事長は、必要に応じて開くことができる。

■第6章 会費及び会計

- 第12条 入会金10,000円とし、会費は必要に応じて徴収する。
- 第13条 会費の徴収は、卒業年次四期の学納金納入時に徴収する。
- 第14条 本会は、入会金、会費をもって運営する。
- 第15条 本会の事業、予算、決算は、総会の承認を得なければならない。
- 第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。
- 第17条 本会の資産は、安城学園高等学校同窓会会長名で銀行、信金、郵便局で保管する。

■第7章 通信及び事務

- 第18条 総会は、書面・インターネット・新聞広告等で通知する。
- 第19条 会員は、住所、氏名等を変更した場合は、本会に通知すること。

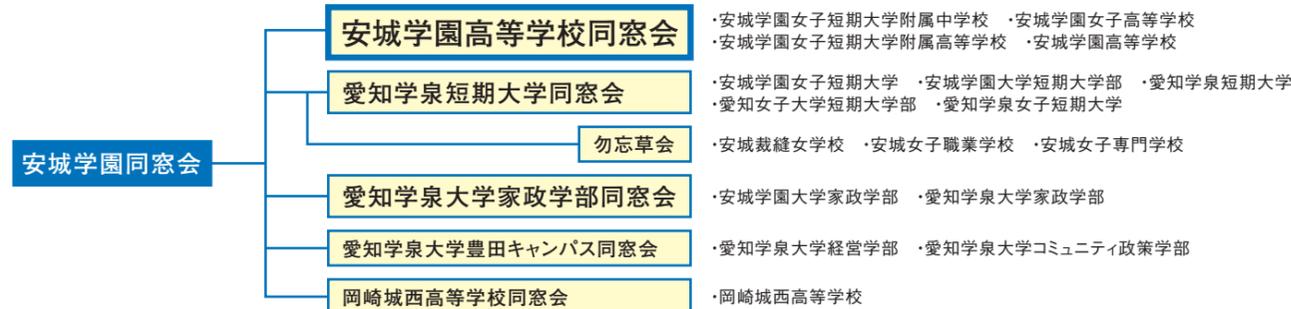
■第8章 支部会について

- 第20条 支部からの要望があれば、地域別の支部会を開催することができる。

■第9章 付 則

- 第21条 本会の慶弔規定は、その都度、役員会で協議する。
- 第22条 本会則の変更は、総会の議決により行うことができる。
 - ・本会則は、平成16年10月24日より実施する。
 - ・本会則は、平成21年9月26日 一部改正。
 - (但し、第5章 会費 は平成22年度より改正)
 - ・本会則は、平成22年6月12日 一部改正。

組織図



安城学園高等学校 同窓会会報



発行日 2017年2月20日
発行所 安城学園高等学校同窓会
〒446-8635
安城市小堤町4-25
TEL.0566-76-5105
FAX.0566-72-2808
[E-mail] info@angaku.jp

新入会員の皆様へ お祝いの言葉



輝く未来への一歩を

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。安城学園高等学校同窓会入会ありがとうございます。皆さんは、学園創立100周年を祈念し、同窓会員33,500名の祈りを込めて校門の所に建てられた建学の精神の時計塔に見守られ、3年間学びに励まれました。

この同窓会は、平成16年3月、安城学園同窓会「勿忘草会」が解散し、平成16年10月24日高等学校の部が独立、「安城学園高等学校同窓会」として設立されました。

同窓会は、現役の高校生の発展に寄与したいと「夏の東日本支援セミナー」への応援参加、学園祭での協賛金支援・寺部だい先生のあゆみのパネルによる紹介・簡単造花作り体験などを実施しました。

また、会員の協力により今年度も卒業生の皆さんに同窓会会報『おも

安城学園高等学校同窓会
会長 鶴田 紀美子

いでぐさ』9号をお届けできますこと、大変うれしく思います。会報『おもいでぐさ』のタイトルは、皆様も拝読された寺部だい先生の自叙伝の題名から、引き継がせていただきました。創設者寺部だい先生は、「最初の一コマは、未来永劫のあり方とその運命を意味する最も大切な一コマである」と昭和32年発行された『安城学園45年史』の巻頭言に書かれていますように、卒業は、新たな一歩であり、未来へと繋がる一歩でもあります。

会員の皆様、どうぞ今日のこの日の一コマから、同窓生の仲間として輪を結び、母校の応援団としていろいろな行事に参加していきましょう。先ずは、平成29年6月3日(土)に開催予定の総会・(還暦・成人式のお祝い会有り)へのご出席をお待ちしています。母校で培った「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を誇りに、自分の目指す夢に向かって貴方らしく力強く生きていかれることを祈念します。

同窓会の発展を願って



貴同窓会の皆様が、生きる意志と生きる力と生きる歓びに満ち溢れた人生を送ることができますように！

理事長 寺部 暁

貴同窓会におかれましては益々ご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、本法人では、現在、不易流行・温故知新の精神に基づいて、私立学校の憲法である寄附行為の変更を予定しています。この中で、本法人の主たる目的を「『建学の理念』と『建学の精神』と『真心・努力・奉仕・感謝』の四大精神の実践を通して、創立者が目指した経済的・政治的・文化的に自立できる社会人を育成することによって、地域と国際社会に貢献することである」としています。ここで、「経済的自立だけでなく、政治的・文化的にも自立して、初めて大人である」という寺部だいの大人のイメージに特に注目してください。ここで、「政治的自立」とは、例えば、一人一票という国民・県民・市民に与えられた権利を国政・県政・市政のために行使できるということです。

ところで、有権者は年齢によって決めています。これは、その年齢に達すると大人としての判断力を有しているということを前提にしているからです。この前提を満たすためには、pisa型学力によって智性を、建学の精神によって徳性を、自然体によって身体を、直感性によって感性を、社会人基礎力によって行動を自ら鍛え上げること、つまり、創立者が目指した経済的・政治的・文化的に自立できる社会人を育成することが不可欠だと思います。

最後に、「学校あつての同窓会、同窓会あつての学校」です。貴同窓会及び会員の皆様のご発展となお一層のご指導・ご鞭撻を願ひいたします。



拍手するほうがずっと、心がゆたかになる

校長 坂田 成夫

同窓会の皆様には、日頃から母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

“拍手するほうが、ずっと心がゆたかになる”高倉健さんが書いた「南極のペンギン」という本の一節です。沖縄の石垣島の富野小中学校の合同運動会で「ナワナエ競争」という競技に参加するおじいさん、おばあさんの真剣な姿を見て、いつの間にか手をたたいて応援していた高倉さんが思ったことです。

この学校は、子どもの数が14人と少なく、子どもだけでは運動会ができなくなってしまったために、大人も一緒に参加しています。そして、一緒に楽しむ競技が考えられています。そんな競技の一つかが「ナワナエ競争」です。この競技は、ワラをよじって、長いナワを作る競争です。高倉さんは、その競技を見つめながら一生懸命に競技に参加する大人と子どもに手をたたき続けていたということです。世の中には一生懸命、誠実に生きている人は多数います。その人たちに是非、拍手をして欲しいと願います。

東日本大震災から約6年が経過しています。学校法人安城学園は“東日本から学ぶプロジェクト”を立ち上げ、一貫して生徒や学生の活動を応援しています。同窓会もその活動に加わっており、誇りに感じています。

“拍手するほうがずっと、心がゆたかになる感覚”そうした活動も同窓会のもう一つの活動として位置づけて 同窓会の“絆”と“繋がり”の活動の一つの柱にさせていただくことを期待します。

第13回 安城学園高等学校同窓会総会を開催しました

日時 平成28年6月4日(土)
午後1時
場所 視聴覚室(西館)

【総会】

- 1 開会のことば
- 2 同窓会会長あいさつ
- 3 理事長あいさつ
- 4 校長あいさつ
- 5 議長選出
- 6 議題
 - 1) 平成27年度 事業報告
 - 2) 平成27年度 会計報告・会計監査報告
 - 3) 平成28年度 事業案
 - 4) 平成28年度 予算案
 - 5) その他
- 7 お祝いの会(成人・還暦)
- 8 ミニ音楽祭
- 9 閉会のことば

安城学園高等学校同窓会・会務報告

～平成27年度事業報告～

- 役員会……………(5月・11月・3月)
- 総会案内発送……………(4月)
- 幹事会……………(6月)
- 第12回 総会
- 東日本支援大人セミナー参加
- 学園祭パネル展示・造花体験講座
- 27年度 卒業生同窓会入会式……………(2月)
- 会報「おもいでぐさ」8号発行……………(2月)

～平成28年度事業計画～

- 役員会……………(5月・11月・3月)
- 総会案内発送……………(4月)
- 幹事会……………(6月)
- 第13回 総会
- 東日本支援大人セミナー参加
- 学園祭パネル展示・造花体験講座
- 28年度 卒業生同窓会入会式……………(2月)
- 会報「おもいでぐさ」9号発行……………(2月)



▲ミニ音楽祭(箏曲部)

学園祭 同窓会コーナー



▲協賛金贈呈



▲だい先生パネル展



▲造花体験講座

同窓会役員

顧問 寺部曉(理事長)、坂田成夫(校長)、
長谷川幸子(勿忘草会長)
会長 鶴田紀美子
副会長 松原美智子、安藤紀美子、
天野真弓、藤井京子
幹事長 浅井恵
書記 榑原ゆり、神谷良美、
岡田叔子、石田桂
会計 渡辺貴美、神谷美鈴、
会計監査 三井妙子、大久保一代

幹事

平成26年度	普1組 鈴木 結恵	平成27年度	普1組 バチスタ カロリネ
2組 石原 菜絵	2組 杉浦 志季	3組 加藤 真衣	3組 加藤 真衣
3組 苅川 真由	4組 蔵本 紗智	4組 蔵本 紗智	4組 蔵本 紗智
4組 加納 咲里	5組 松山 光一	5組 松山 光一	5組 松山 光一
5組 山下 真依	6組 和田 梓	6組 和田 梓	6組 和田 梓
6組 原田 莉菜	7組 佐野 水香	7組 佐野 水香	7組 佐野 水香
7組 杉浦 和真	8組 神谷 優誠	8組 神谷 優誠	8組 神谷 優誠
8組 竹中 良太	9組 神谷 匠	9組 神谷 匠	9組 神谷 匠
9組 新田 零	10組 藤原 海斗	10組 藤原 海斗	10組 藤原 海斗
10組 山本 輝一	11組 山本 太郎	11組 山本 太郎	11組 山本 太郎
11組 川元 翔平	商1組 永田 結那	商1組 永田 結那	商1組 永田 結那
12組 和田 直也	2組 本山 月音	2組 本山 月音	2組 本山 月音
商1組 岸川 りな	3組 鍋田 彩歌	3組 鍋田 彩歌	3組 鍋田 彩歌
2組 三好 あすか			
3組 内藤 宏樹			

平成28年度	普1組 池田 かすみ
2組 昼間 さおり	2組 昼間 さおり
3組 坂本 理菜	3組 坂本 理菜
4組 佐藤 遥	4組 佐藤 遥
5組 笠井 瑞貴	5組 笠井 瑞貴
6組 廣瀬 曉斗	6組 廣瀬 曉斗
7組 森 泰誠	7組 森 泰誠
8組 兵藤 幹太	8組 兵藤 幹太
9組 後藤 啓介	9組 後藤 啓介
10組 長谷川 隼人	10組 長谷川 隼人
11組 小林 耀	11組 小林 耀
12組 日坂 知弘	12組 日坂 知弘
商1組 太田 天人	商1組 太田 天人
2組 松見 紋	2組 松見 紋
3組 柳原 萌	3組 柳原 萌

※年次幹事は終身幹事です。

同窓生という「輪」

卒業生からのたより

「友」

水越 真知子(昭和49年度卒)



私は、安城学園女子短期大学付属高等学校で、3年間ソフトボール部に所属していました。目標に向かって毎日仲間との厳しい練習に明け暮れていましたが、2年生の途中にケガをしてしまい、クラブを続けることがとても不安でしたが、仲間たちの励ましや家族の支えがあって3年間頑張れたと思います。卒業後も、同級生とは時々会っています。近況報告などをしてると、いつの間にか高校生の自分に戻ってしまいます。現在は、安城学園本部に勤務していますが、平成29年度3月31日で定年です。皆さんと一緒に卒業します。長い間ありがとうございました。卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

継続したことで得たもの

石川 叶絵・永井 昭帆(平成25年度卒)



私たちは安城学園でバスケットボール部に所属していました。3年間、時には辛いこともありましたが、仲間と支えあい、高めあうことで乗り越えてきました。高校でたくさんの壁を乗り越えてきたことで、大学では多少の困難に対してくじけることなく進み続けることができました。

大学における最後の全国大会「全日本大学バスケットボール選手権大会」の1回戦では、再延長の末に勝利し、ベスト16という結果を残すことができました。これは、最後まであきらめない気持ちと仲間を信じる気持ちがあってこそ結果だと感じています。

その土台はやはり高校生活にあり、これからも大切にしていきたいです。

東日本支援大人セミナーへの参加

8月18日(木)～21日(日)の4日間、安城学園の「東日本に学ぶ」東日本支援大人セミナーに安城まちづくり市民会議の会員16名の皆様と同窓会会員として今年も参加。今年は盛町の老人ホーム(合唱部演奏)、岩手県立大船渡東高校、旧大川小学校、石巻専修大学等々を訪れ、意義あるセミナーでした。東日本を応援に感謝です。

同窓会長 鶴田紀美子

貴重な3年間

横田 彩・横田 愛(平成20年度卒)



私達は双子の姉妹です。小学校6年生の時に一緒にフルートを始め、岡崎市の竜海中、安城学園高校と吹奏楽で過ごしました。特に高校の3年間の部活動は、部員数も多く、活動も活発で、とても厳しいものでした。そのおかげもあり、名古屋芸術大学に進み、卒業後も音楽活動をすすめています。H24年に彩愛～Sara～と名付け、フルートデュオを結成しました。H27年、第9回横浜国際音楽コンクールアンサンブル部門二重奏の部、第1位を受賞することができました。H29年11月には結成5周年記念コンサートを開催予定です。これからも技術を磨き、色彩豊かで愛らしいハーモニーをお届けしたいと思っています。

安城学園で過ごした日々

米津 由香(平成26年度卒)



私にとって安城学園で過ごした3年間はとても楽しく、大切な多くのものを得ることのできた、かけがえのない大切な思い出です。私は新設された文理コースの一期生として入学したこともあり、学校生活や勉強面で戸惑うことや、自分の進学先について不安になったことが何度もありました。ですが、ともに3年間同じ教室で過ごしてきたクラスメイトや、私の相談に親身になって応じてくださった先生方、常に応援してくれていた家族の存在もあり、今ではサークル活動や課題で忙しいながらも、充実した大学生活を送ることができています。貴重な3年間で過ごしてきた安城学園に感謝しています。ありがとうございました。

編集後記

安城学園高等学校同窓会会報9号の発行ができましたことは、理事長様、校長先生のご支援のお陰と感謝申し上げます。同窓会の目的は会員相互の連携を親睦を図るとともに安城学園高等学校の発展に寄与することです。毎年、学生のスポーツ、音楽、文化等々の成績は誇りであり、今後も各分野での活躍に同窓会も心より応援し続けていきたいと思っています。同窓会の諸行事に積極的に参加され盛り上げてくださることに期待しています。

※会員の皆様の住所変更がありましたら、安城学園高等学校同窓会事務局までご連絡ください。

平成29年度

同窓会総会案内

平成29年6月3日(土)

13:00～14:00

安城学園高等学校 視聴覚室

多数のご参加をお待ちしています。